

「千葉県文化芸術推進基本計画」令和4年度実施結果・令和5年度実施計画(県実施分)

資料1-2

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・芸術 ……………文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術(メディア芸術を除く) ・メディア芸術 ……映画、漫画、アニメーション、コンピューターその他の電子機器等を利用した芸術 ・伝統芸能 ……雅楽、能楽、文学、歌舞伎その他の我が国由来の伝統的な芸能 ・芸能 ……………講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能(伝統芸能を除く) ・生活文化 ……茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・国民娯楽 ……囲碁、将棋その他の国民的娯楽 ・出版物等 ……出版物及びレコード等 ・文化財等 ……有形及び無形の文化財並びにその保存技術 ・郷土芸能 ……地域固有の伝統芸能及び民俗芸能 |
|--|--|

施策の柱1 あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり ～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、障害の有無や年齢等に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
|-----|--------------------------|---|--|--|-----------|--|-----------|--|----------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 1 | 千葉・県民芸術祭 | 県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。 | ①千葉・県民芸術祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数：全29件、期間：6月25日～11月24日、場所：県立美術館・文化会館など(全県)、関係者：文化芸術団体(全28団体)、来場者(合計)：一般県民等(56,120名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。 日程：7月23日(土)、24日(日)、9月25日(日)、場所：千葉県文化会館、関係者：((公財)千葉県文化振興財団・県域で活動する文化芸術団体等(25団体)、来場者：一般県民等(3,584名・入場無料) | 県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。 また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。 | 7,138 | ①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 事業数：28件、期間：6月～1月、会場：県立美術館など全県で実施 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 日程：10月1日(日)、会場：青葉の森公園芸術文化ホール、出演者：一般公募により選定した出演者等 また、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたミニライブ等を開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、YoutubeやSNS等で配信する。 | 7,220 | 行事名称を「千葉・県民芸術祭」から「千葉・県民文化祭」に変更する。 | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 2 | 県立文化会館自主事業・管理運営事業 | 県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。 | ・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：532,419名 ・利用事業数(4館合計)：4,104件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。 | 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。 | 652,282 | ・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施 | 556,700 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 3 | 県立美術館・博物館事業 | 5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：641,652人 | 千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。 | 1,025,381 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。 | 1,318,575 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 4 | 県民芸術劇場 | 県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。 | ・時期：通年 ・公演数：23公演 (管弦楽6公演、室内管弦楽4公演、室内楽11公演、芸術鑑賞教室2公演) ・会場：県内文化ホール等23 | 県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、本県の芸術文化の振興を推進した。 | 15,957 | ・時期：通年 ・公演数：35公演(予定) (管弦楽6公演、室内管弦楽5公演、室内楽13公演、芸術鑑賞教室11公演) ・会場：県内各地 | 19,781 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 5 | ちば文化交流ボックス | 県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。 | 【文化交流ボックス】内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数：732,312人 | 県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。 | - | 文化イベントや文化資源などに関する情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧数増加を目指す。 | - | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 6 | 障害者芸術文化活動支援事業 | 障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。 | 【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施事業：県民相談(41件)、障害当事者や支援者向けの人材育成研修(参加者数：89人、配信動画再生数：650回) ・展覧会等：1月14日～3月26日(展示作品数：41点) | 障害のある人々の作品発表の機会の確保や県全域でのワークショップの実施により、文化振興に寄与した。一方で、さらなる情報周知の必要性や作品募集形態による機会の減少など、来年度に向けての課題も指摘された。 | 7,020 | 【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施予定事業：県民相談、障害当事者や支援者向けの人材育成、県立美術館での展覧会の実施 | 7,553 | 展覧会の充実・規模拡大(初めて表現活動に取り組む方だけでなく、日頃から作品を制作されている方からも広く募集して実施) | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 7 | 特別支援学校巡回コンサート | プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。 | ・時期：通年 ・巡回先：県内特別支援学校18校 | 特別支援学校18校での公演を開催し、コンサート会場に行くのが困難な児童・生徒に優れた音楽鑑賞の機会を提供した。 | 13,590 | ・時期：通年 ・公演数：18公演(予定) ・巡回先：県内特別支援学校(令和4年度の実施校と異なる学校) | 13,590 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 8 | ちばアクアラインマラソン開催事業 | スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。 | 令和4年11月6日(日)に「ちばアクアラインマラソン2022」を開催し、約1万5000人のランナーが参加した。4年ぶりとなる今大会では、東京オリンピック・パラリンピックで実感されたスポーツの持つ力と価値を未来に引き継ぐとともに、新たに初心者枠の設定や、親子ラン、生活用車いすランといったイベントなどを実施した。 | コース沿道では、吹奏楽や和太鼓、ダンスなどの応援パフォーマンスで大会を盛り上げるとともに、観戦者にはスポーツと文化芸術に触れる機会を創出した。 | 154,913 | 「ちばアクアラインマラソン2024」の開催に向けて、「基本計画」、「大会要項」及び「募集要項」を決定し、大会開催への準備を整える。 | 49,000 | | 環境生活部 スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課 |
| 9 | 愛鳥週間事業(千葉県愛鳥週間ポスターコンクール) | 鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。 | 【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会(7月)、表彰式(中止)、入賞作品の展示(8月～) | ポスターコンクールを通じて、鳥獣保護思想の普及啓発を図り、また環境保全への関心を広く理解してもらうため、入賞作品を展示した。 | 834 | 【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 対象：県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会(7月)で入選作品58点を選定。 県内各地で入選作品を展示する予定。 | 1,193 | | 環境生活部 自然保護課 |

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|--------------------|---|---|--|---------|--|-----------|--|-------------------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 10 | 千葉県環境月間ポスター作品募集 | 環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。 | 1. 作品募集 ・募集期間: 令和3年4月1日～10月28日 ・応募作品: 1,237点 2. 審査会 ・日程: 令和4年1月18日 ・入賞: 82点 ・審査員: 学識経験者等 3. 展示 ・県庁での展示: 令和4年6月1日～6月14日 4. 表彰式 令和4年6月29日 | 環境保全に対する県民意識の高揚と知識の普及を図られた。 | 241 | 1. 作品募集 ・募集期間: 令和4年4月1日～10月31日 ・応募作品: 930点 2. 審査会 ・日程: 令和5年1月13日 ・入賞: 82点 ・審査員: 学識経験者等 3. 展示 ・県庁での展示: 令和5年6月1日～6月9日 4. 表彰式 令和5年6月12日 5. 次年度作品募集 ・募集期間: 令和5年6月1日～9月30日(予定) | 271 | 3R等推進事業からの支出(設計書ベースのポスター印刷分): 112,500円 環境学習・環境保全活動促進事業からの支出(募集・表彰分): 158,000円 | 環境生活部 循環型社会推進課 |
| 11 | 千葉県身体障害者作品展示会 | 県内の身体障害者が自らの趣味やリハビリ活動の中でその技術を活かして制作した作品を公開展示して、障害者の積極的な自己表現の場を提供し、自立への大きな活力とするとともに、県民の障害者への理解を広める。 | ・日程: 10月18日～23日 ・場所: 千葉県立美術館 ・応募者数: 64名 作品数: 111点 | 多くの人に鑑賞・応募いただき、県民の障害者への理解を広めることができた。優秀作品11点については、知事賞や教育長賞等を授与した。 | 239 | - | - | 今年度実施無し | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 12 | さわやかちば県民プラザ事業 | 音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオプブラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。 | 県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて7事業を実施した。全ての事業はさわやかちば県民プラザ主催、さわやかちば県民プラザで実施し、入場料は無料。 ・①音楽ワークショップ・概要: 「柏の葉吹奏楽団」を結成し、吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。 ・回数: 練習全15回実施、コンサート2回・期間: 5月21日～1月15日・連携団体: 千葉県吹奏楽連盟、柏の葉吹奏楽団・来場者: 団員、鑑賞者(1913人) ・②東葛飾文化祭・概要: 東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。 ・期間: 6月3日～6月12日・連携団体: 柏市文化連盟、我孫子市文化連盟、鎌ヶ谷市芸術文化協会、流山市文化協会、野田市文化団体協議会、松戸市文化団体連盟・来場者: 発表関係者、鑑賞者(7200人) ・③ザ・ワールドオプブラス: 概要: 東関東地区(千葉県、茨城県、神奈川県、栃木県)の中学校、高校の吹奏楽部全23校がフロアマーチングの発表を実施した。 ・日程: 5月7日・連携団体: 東関東吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、東葛飾地区吹奏楽連盟・来場者: 発表関係者(1400人) ・④クリスマスコンサート・概要: 県内小中高等学校吹奏楽部が日ごろの練習成果を発表した。 ・日程: 12月17日・来場者: 発表関係者(207人) ・⑤高校生バンドフェスティバル・概要: 県内の高校生バンド16組が演奏を披露するコンサートを実施した。 ・日程: 12月24日、25日・連携団体: 千葉県高等学校軽音楽連盟・来場者: 発表関係者、鑑賞者(218人) ・⑥書のパフォーマンス発表会・概要: 県内の高校11校の書道部が書道の実演発表を実施した。 日程: 10月1日・来場者: 発表関係者、鑑賞者(415人) ・⑦さわやかアゴラコンサート ・概要: 日曜のお昼に県民プラザ利用者等によるコンサートをアゴラで行った。 ・回数: 5回・期間: 6月26日～2月26日・来場者: 発表関係者、鑑賞者(136人) | 参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの県民に触れる場となるよう広報も工夫した。 | 320 | 音楽ワークショップ、とうかつ地域文化祭、ザ・ワールドオプブラス、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会などを実施する。 | 329 | クリスマスコンサート、さわやかアゴラコンサートの実施は実施しない。 東葛飾文化祭は実行委員会との共催事業となり、とうかつ地域文化祭と名称変更した。 | 教育庁 生涯学習課 |
| 13 | 県立図書館事業 | ①県民への情報提供・図書の貸出②書籍の収集整備③読み聞かせボランティアの育成・特別支援学校訪問読書支援④図書館ネットワークの構築・運用を行う。 | ①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を行った。(令和5年3月にシステム更新) ・ホームページのアクセス数: 332,241件、Web予約件数: 67,887、個人貸出冊数: 116,649冊、図書館等への協力貸出: 88,673冊 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,658冊を購入整備した。 ③ー1 読み聞かせボランティア入門講座 ・期間: 5月7日、9月17日 ・回数: 2回・場所: 白井市、南房総市・参加者(合計): 一般県民等(68名) ③ー2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間: 通年 ・回数: 17校 ・場所: 各特別支援学校 ・参加者(合計): 特別支援学校教職員・児童・生徒等(824名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて194千冊の貸出しを行った。 | 県民の読書や調査研究活動の支援、読み聞かせボランティアの育成、市町村立図書館等への協力援助等を行うことにより、読書環境の向上や文化振興に寄与した。 | 116,305 | ①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、県民への情報提供や図書の貸出しを行う。(予算95,040千円) ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に書籍を購入整備する。(予算53,032千円) ③読み聞かせボランティアステップアップ講座/特別支援学校訪問読書支援(予算246千円) ④図書館ネットワークの構築・運用(予算19,187千円) | 167,505 | | 教育庁 生涯学習課 |
| 14 | 「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業 | 千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。 | 県内小中高等学校や保育・高齢者施設、県主催イベントなどにおいて、着ぐるみを用いて「ゆめみるチーバくんダンス」の普及活動を実施。 学校等訪問回数(イベント除く): 88回、期間: 4月1日～3月31日、場所: 主に県内 | チーバくんのダンスを通して、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を提供することができた。 | 20,771 | 千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。 | 22,100 | | 総合企画部 地域づくり課 (R5年度から報道広報課へ移管) |
| 15 | 全日本中学生水の作文コンクール | 「水の日」の趣旨にふさわしい事業の一環として次代を担う中学生を対象に「水について考える」をメインテーマに作文コンクールを行う。 | 県内各地から275編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞3校を選定した。 (主催者: 水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ: 「水について考える」、募集対象者: 県内在住・在学の中学生、募集期間: 3月1日～5月9日、応募数: 275編 2. 表彰 入賞者を県庁に招いて表彰式を実施。 | 作文の応募数が増加し、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。 | 65 | 「全日本中学生水の作文コンクール」の実施 ・募集期間: 3月1日～5月8日 ・募集対象者: 県内在住・在学の中学生 | 150 | | 総合企画部 水政課 |
| 16 | 千葉県男女共同参画フェスティバル | 本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、「千葉県男女共同参画フェスティバル」では、県の男女共同参画の推進拠点として、講演や県内で男女共同参画の推進に向けて活躍する民間団体による体験講座を実施し、県民が楽しみながら男女共同参画への理解を深められるよう、民間団体と交流を行う。 | 「千葉県男女共同参画フェスティバル」の開催 1月16日 13時から15時 基調講演「今日のはちよつと考える日に！アンコンジャス・バイアスとは」 会場: Zoomウェビナー 1月21日、22日 10時から16時 パネル展「だんじょきょうどうさんかく」ってなに？」 会場: イオンモール幕張新都心 グランドモール1階 ホビーコート | 講演会では、日本人の抱える「アンコンジャス・バイアス＝無意識の思い込み」と言われるものについて説明があり、チャット等により参加することで自分の他の参加者のバイアスについて認識してもらうことができた。パネル展では、昨年同様、大型商業施設において、民間団体から募集したのもも加えたパネル展を実施した。来場者は夫婦や家族連れが多く、パネルを見た後でアンケートにも答えていただくことで、男女共同参画について考えるきっかけづくりになった。 | 404 | 「千葉県男女共同参画フェスティバル」の開催 ・日時: 未定 ・場所: 未定 ・内容等: 基調講演のほか、以前はワークショップを行っていたが、新型コロナウイルス感染防止の観点からこの二年間はパネル展を実施しており、開催方法については今後検討する。 | 1,235 | | 総合企画部 男女共同参画課 |

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|---------------------------|---|--|---|---------|---|-----------|--|----------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 17 | 千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール | 県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。 | 1 作品募集 (1)対象・応募数 小学校低学年10,757点、小学校高学年6,999点、中学校397点、特別支援学校・学級130点 (2)募集期間 4月18日から6月17日まで (3)目的・テーマ 口腔保健に関する正しい知識の普及啓発 2 審査会・表彰(7月7日) (1)小学校低学年、小学校高学年、中学校の部 各部門県知事賞1名、県教育長賞1名、県歯科医師会長賞1名 (2)特別支援学校・学級の部 県教育長賞3名、県歯科医師会長賞3名 | 多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品15点については知事賞や教育長賞等を授与し、口腔保健に関する正しい地域の普及啓発や県民の健康の保持増進に寄与することができた。 | 0 | 1 作品募集 (1)対象 県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒 (2)募集期間 4月18日から6月16日まで (3)目的・テーマ 口腔保健に関する正しい知識の普及啓発 2 審査会・表彰(7月6日・11月30日) (1)小学校低学年、小学校高学年、中学校の部 各部門県知事賞1名、県教育長賞1名、県歯科医師会長賞1名 (2)特別支援学校・学級の部 県教育長賞3名、県歯科医師会長賞3名 | 294 | 健康福祉部 健康づくり支援課 | |
| 18 | 心の輪を広げる障害者理解促進事業 | 障害者に対する国民の理解の促進を図るため、国民を対象に「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。 | 1 作品募集 (1)対象・応募数 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分、計19作品) 【ポスター】小学生・中学生(2区分、計3作品) (2)募集期間 7月1日から9月5日まで (3)目的・テーマ 「障害者週間」の実施に伴い、障害者に対する国民の理解の促進を図ること 2 表彰 ・ 知事最優秀賞(4区分、4名)、知事優秀賞(5区分、5名)、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞(4区分、4名)の計13名を表彰 ・ 例年11月に実施している表彰式は中止 ・ 最優秀賞作品は内閣府へ推薦 | 多くの方に作品を応募いただくとともに、優秀作品を表彰するなどにより、障害者に対する理解を得ることができた。 | - | 1 作品募集 (1)対象 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分) 【ポスター】小学生・中学生(2区分) (2)募集期間 7月3日から9月5日まで (3)目的・テーマ 「障害者週間」の実施に伴い、障害者に対する国民の理解の促進を図ること 2 表彰 ・ 各区分ごとに、最優秀賞1名、優秀賞1名、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞1名以内をそれぞれ表彰 ・ 表彰式:11月予定 ・ 最優秀賞作品は内閣府へ推薦 | - | 健康福祉部 障害者福祉推進課 | |
| 19 | 若年層対策献血啓発事業 | 中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。 | 1 作品募集 (1)対象・応募数 県内中学校・高等学校に在学中の生徒(中学生334点、高校生48点) (2)募集期間 7月1日～9月2日 (3)目的・テーマ 若年層の献血の意識付け・献血啓発ポスター 2 表彰 ・ 10月27日(木)、千葉県献血感謝のついでで表彰 ・ 知事賞・部長賞についてはポスター・リーフレット等で使用 | 多くの生徒に作品を応募いただくとともに、優秀作品を表彰するなどにより、献血の意識付け、啓発を行うことができた。 | 211 | 1 作品募集 (1)対象 県内中学校・高等学校に在学中の生徒 (2)募集期間 7月1日から9月4日まで (3)目的・テーマ 若年層の献血の意識付け・献血啓発ポスター 2 表彰 ・ 表彰式:10月予定 ・ 知事賞・部長賞についてはポスター・リーフレット等で使用 | 330 | 令和5年度は、献血運動推進全国大会を千葉県で開催することから、例年の表彰の場である献血感謝のついでを開催しない予定であり、表彰式は別途実施する予定。 | 健康福祉部 業務課 |
| 20 | 千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業 | 「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。 | 「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供 ・令和4年度年間利用者数:74,317人 | 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の場を提供した | 93,700 | 「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供 | 93,500 | 健康福祉部 高齢者福祉課 | |
| 21 | 手をつなぐ作品展事業 | 心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図るため、県内の 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に障害に関する作文を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品をまとめた作品集を作成し、関係機関に配布する。 | 1 作品募集 (1)対象・応募数 県内に居住する小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒 (出品校19校、応募作品総数143点) (2)募集期間 8月1日から10月17日まで (3)目的・テーマ 【目的】心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図ること 【テーマ】心身障害児・者に対する理解を深める内容のもの 2 審査会(入賞者決定、11月24日)・表彰(2月26日) ・ 入賞作品集を作成し、県内小・中・高・特別支援学校、関係機関に配布した。 ・ 千葉県肢体不自由児協会のホームページや機関誌にて、入賞者及び作品を公開した。 | 多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品11点については、知事賞や教育長賞等を授与し、県民の障害者への理解を広めることができた。 | 248 | 1 作品募集 (1)対象 県内に居住する小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒 (2)募集期間 8月上旬から10月中旬まで (3)目的・テーマ 【目的】心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図ること 【テーマ】心身障害児・者に対する理解を深める内容のもの 2 審査会・表彰 ・ 審査会(入賞者決定):11月下旬 ・ 表彰式:2月下旬 | 230 | 健康福祉部 障害者福祉推進課 | |
| 22 | 千葉県建築文化賞 | 安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。 | 1. 作品募集 募集部門:一般建築物の部、住宅の部、募集期間:7月1日～9月30日 作品応募数:50作品 2. 審査結果 最優秀賞2点、優秀賞3点、入賞4点、計9点を表彰した。 | 県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。 | 1,141 | 賞を年1回実施(募集期間:7月1日～9月30日(予定)、表彰式:3月下旬) | 1,461 | 令和5年度で千葉県建築文化賞は第30回を迎えるため、第30回記念講演会を実施する予定。 | 県土整備部 建築指導課 |
| 23 | 千葉県議会議場演奏 | 県民文化の向上発展に資するため、議場内において演奏を行う。 | 実施なし ※当行事は4年に1回程度の頻度で実施を検討している。 | | | 県民文化の向上発展のため昭和62年度以来、改選後の6月定例会招集日の冒頭に、議場で公益財団法人千葉交響楽団による演奏会を実施。 期間:6月定例会の招集日の開会前(6月16日) 会場:千葉県議会議場 | 220 | 議会議務局 | |

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|--------------|--|--|---|---------|--|-----------|---|-------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 24 | 県警音楽隊派遣 | 要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。 | 新型コロナウイルスも4月以降落ち着き、派遣日数109日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計226回の演奏を行った。 | 新型コロナウイルスも4月以降落ち着き、イベント開催による派遣要請も徐々に増加したことで、警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。 | | 派遣予定日数:77日 派遣予定回数:78回 0(令和5年1月～令和5年12月) | 0 | | 警察本部 |
| 25 | 県警音楽隊金曜コンサート | 4月から10月(7～8月を除く。)までの間の金曜日に、実施。 | 県立羽衣公園(4月22日、6月17日、9月9日、10月14日)、JR新浦安駅前広場(5月20日)、きぼーる1階アトリウム(9月16日)に於いて、合計6回実施した。(雨天のため中止2件) | コロナ禍の影響で令和2年と3年は開催を取りやめていたが、令和4年度に入り落ち着き、開催を計画した。警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。 | 0 | 令和5年4月から10月まで(7月及び8月を除く。)の間の金曜日に5回のコンサートを予定。 日程:4月21日、10月27日、会場:県立羽衣公園 5月19日、会場:JR新浦安駅前広場 6月16日、会場:そごう千葉店1階正面入口前広場 9月8日、会場:きぼーる1階アトリウム | 0 | | 警察本部 |
| 26 | 県警音楽隊定期演奏会 | 演奏を通じて県民とのふれあいを深め、警察活動に対する県民の理解と協力を得るために、演奏会を行う。 | 11月12日(土)千葉県文化会館で午前の部、午後の部、2回の演奏を実施した。 | 警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。 | 862 | 11月25日(土)青葉の森公園芸術文化ホールで午前の部、午後の部2回の演奏を予定。 | 805 | 千葉県文化会館から、本年の開催場所は、青葉の森公園芸術文化ホールに変更となる。 | 警察本部 |

②文化芸術活動の担い手やそれに支える人材の育成・支援・活用

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|----------------------|--|---|---|---------|--|-----------|--|-----------------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 27 | 県立文化会館自主事業管理運営事業(再掲) | 県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。 | ・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):532,419名 ・利用事業数(4館合計):4,104件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。 | 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。 | 652,282 | ・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施 | 556,700 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 28 | 公立文化施設担当者研修会 | 県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。 | 県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、研修会を開催した。 日時:令和5年2月2日(木) 会場:千葉県文化会館 テーマ:「貸館業務におけるトラブル対応について」 「効果的な集客のための広報の方法について」 講師:(公社)全国公立文化施設協会 事務局参与 間瀬 勝一氏 参加者:31名 | 本事業の実施により、文化施設の管理運営に携わる職員等の育成・能力の向上を図ることができた。 | 67 | 県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、研修会を開催予定。 日時:令和6年1月頃実施予定 会場:千葉市内 テーマ:検討中 講師:検討中 対象者:県内の文化施設の設置者及び運営者 | 105 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 29 | 表彰の実施 | 千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体の候補者を表彰する。 | 令和4年度推薦実績(文化振興課のみ) ・教育功労者表彰(教育長):個人4名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人2名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):個人1名 | 被表彰者が活動する文化芸術分野の活性化に寄与した。 | - | 令和5年度推薦予定(文化振興課のみ) ・教育功労者表彰(教育長):個人4名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人2名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):個人1名、1団体 | -- | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 教育庁文化財課 |
| 30 | 千葉交響楽団による活動等 | 千葉県のプロ・オーケストラである千葉交響楽団に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。 | ・主催公演:5公演(定期演奏会2回、特別演奏会3回) ・依頼演奏会:19公演 ・アウトリーチ活動:6公演 | 子どもたちの文化芸術活動の充実や、高齢者・障害のある人等の文化芸術活動の充実に寄与した。 | 25,988 | ・主催公演:6公演(定期演奏会3回、特別演奏会3回)予定 ・依頼演奏会、アウトリーチ活動を予定 ※県は運営費を補助 | 28,676 | 定期・特別演奏会の実施回数を各1回増 | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 31 | 文化活動ボランティアネットワーク | 文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。 | 登録情報の更新と文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方のマッチングを行った。 ・文化活動ボランティア登録数:74件 ・文化活動ボランティア依頼件数:55件 | 文化活動ボランティアをしたい方、お願いしたい方双方が文化活動に関わる機会を提供した。 | - | 登録情報の更新作業 ・文化活動ボランティア登録数:40件 ・文化活動ボランティア依頼件数:20件 | -- | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 32 | 障害者芸術文化活動支援事業(再掲) | 障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。 | 【支援センター】 ・事業期間:4月1日～3月31日 ・実施事業:県民相談(41件)、障害当事者や支援者向けの人材育成研修(参加者数:89人、配信動画再生数:650回) ・展覧会等:1月14日～3月26日(展示作品数:41点) | 障害のある人々の作品発表の機会の確保や県全域でのワークショップの実施により、文化振興に寄与した。一方で、さらなる情報周知の必要性や作品募集形態による機会の減少など、来年度に向けての課題も指摘された。 | 7,020 | 【支援センター】 ・事業期間:4月1日～3月31日 ・実施予定事業:県民相談、障害当事者や支援者向けの人材育成、県立美術館での展覧会の実施 | 7,553 | 展覧会の充実・規模拡大(初めて表現活動に取り組む方だけでなく、日頃から作品を制作されている方からも広く募集して実 | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 33 | ちば文化交流ボックス(再掲) | 県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。 | 「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:732,312人 | 県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。 | - | 文化イベントや文化資源などに関する情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧数増加を目指す。 | -- | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 34 | 若者の文化芸術活動育成支援事業 | 若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行うとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。 | 「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】10団体10事業/【交付数】6団体6事業 | 6団体6事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。 | 1,200 | 「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月29日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:6団体6事業 | 1,200 | なし | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 35 | 文化振興事業の後援 | 県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展覧会等の行事に対して、県後援名義の使用承認を行う。 | 名義後援を102件行った。 | 県民の文化芸術活動の支援に寄与した。 | - | 引き続き、県民の文化芸術活動を支援し、活性化を図るため、後援名義の使用、承認を行う。 | -- | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |

③文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の機能の充実

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|-----------------------|---|--|--|-----------|---|-----------|------------|------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 36 | 県立文化会館自主事業・管理運営事業(再掲) | 県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。 | ・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):532,419名 ・利用事業数(4館合計):4,104件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。 | 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。 | 652,282 | ・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施 | 556,700 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 37 | 県立美術館・博物館事業(再掲) | 5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:641,652人 | 千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。 | 1,025,381 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。 | 1,318,575 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 38 | 千葉県文化会館大規模改修事業 | 千葉県文化会館は昭和42年に供用を開始し、建物の老朽化が進んでいることから、大規模改修を通して、改修後40年間の使用を見込むための建物機能の回復や、既存不適格となっている特定天井の改修、バリアフリー対策(エレベーターの新設、自動ドア・スロープの整備、トイレの洋式化)、省エネ対策など各種対策を行い、安全性・機能性・効率性・サービスの向上を目指す。 | 令和5年度の工事着手に向け、実施設計及び建築・電気・機械工事について、入札により請負業者を決定した。 ①実施設計 委託業者:株式会社フケタ設計 委託期間:令和3年3月17日～令和4年5月31日 ②千葉県文化会館大規模改修入札結果 建築:戸田・ナリコー特定建設工事共同企業体 電気:関電工・小峰特定建設工事共同企業体 機械:東熱・大和特定建設工事共同企業体 | 実施設計の完了及び入札により工事受注者が決定し、予定通り令和5年度の工事着手が可能となった。 | 135,739 | 大規模改修工事の着手 ①工事期間:令和5年4月15日～令和7年4月10日 ②工事内容 ・安全性の推進(吊り天井や防火区画の改修、消火設備の更新等) ・バリアフリーの推進(エレベーターやスロープ新設、車椅子席の増設等) ・維持管理コストの縮減(照明器具LED化、高効率型空調機器へ改修等) ・利用者の快適な環境づくり(座席幅の拡張、トイレの洋式化等) ・環境負荷の低減(太陽光発電パネルや太陽光・風力駆動の外灯設置等) | 802,072 | - | 文化振興課 |
| 39 | 県立学校施設開放事業 | 県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。 | ・実施場所7校(文化施設5校、交流施設2校) | 全ての学校において、施設開放を実施することができた。しかしながら、匠達高等学校においては開放をしていたが、活動団体等は無かった。 | 1,507 | ・実施場所:7校(文化施設5校、交流施設2校) | 2,279 | | 教育庁 生涯学習課 |

施策の柱2 ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり ～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

④ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|-----------------------------|---|---|--|---------|--|-----------|--|------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 40 | 文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業 | 東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。 | ①平成30年度に111件選定した「ちば文化資産」について、千葉県誕生150周年を記念し、合計150件となるよう追加選定を実施した。 ・「ちば文化資産」追加候補の決定 ア 候補の募集期間:令和4年7月1日～9月5日 イ 応募総数:373件 ⇒選考委員会の意見等を踏まえ、87件を追加候補として決定。 ・県民投票 ア 投票受付期間:令和4年11月17日～令和5年1月22日 イ 投票総数:3,903票 ⇒投票結果及び選考委員会の意見等を踏まえ、39件を追加選定。 ②千葉県誕生150周年を記念し、記念切手のデザインを公募し投票等により決定する「ちば文化資産」切手デザインコンテストを実施した。また、受賞作品をもとに切手デザインを作成するとともに、作品は県立美術館等で展示した。 ・作品募集・受賞作品の選定 ア 作品募集:令和4年7月1日～9月5日(絵画、写真作品を募集) イ 応募数:1,107件(重複や同一作者による複数応募等含む) ウ 審査により、受賞作品20点を決定 ・投票の実施(受賞作品20点の中から、デザインに採用する作品10点を決定) ア 投票期間:令和4年11月17日～12月23日(金) イ 1,778件 ③観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。 ・実施期間:令和4年7月1日～9月5日 ・応募数:1,305件 ④1年を通してSNSやHPにより周知を図った。 | 追加選定のほか「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用などにより、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。 | 9,470 | ①合計150件に追加選定した「ちば文化資産」の啓発物(パンフレット、動画)を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等を通じて活用することで周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS・WEB広告を実施する。 | 11,000 | 前年度追加選定した「ちば文化資産」について、本格的にPRを行うための取組である点 | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 41 | 伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 | 小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。 | 4,039 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 4,040 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 42 | 「ちば」の文化芸術発信事業 | 伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信するための舞台公演を県民が参加できる形で実施する。 | ①ちば文化芸術シンポジウム&ミュージカル・コンサート 開催日:3月12日、会場:千葉県文化会館、来場者:1,240名 ②伝統芸能公演 ・みんなで楽しむ邦楽コンサート 開催日:2月4日、会場:青葉の森公園芸術文化ホール、来場者:630名 ・野村萬斎 青葉の森狂言の会 開催日:2月5日、会場:青葉の森公園芸術文化ホール、来場者:815名 ③ちばの郷土芸能フェスティバル 開催日:12月18日、会場:南総文化ホール、来場者:550名 | 県民の文化芸術活動の促進や、子どもから大人まで幅広い世代が伝統芸能、郷土芸能に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。 | 19,990 | ①歌舞伎公演 開催日:11月、会場:南総文化ホール ②伝統芸能舞台公演 開催日:1月、会場:青葉の森公園芸術文化ホール ③ちばの郷土芸能公演 開催日:8月～3月、会場:東総文化会館 | 20,000 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |

| ④ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供 | | | | | | | | | |
|---------------------|--------------------------------------|--|--|---|---------|--|-----------|------------------------------------|------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 43 | 伝統的工芸品産業振興事業 | 県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工器具の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工器具の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施 | ・千葉県伝統的工芸品を3品新規指定(「日本産榎囲碁盤・将棋盤」、「指物家具」、「江戸組紐」) ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷し市町村や物産館等に配付) ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成 ・関東規模の伝統的工芸品展に、房州うちわが参加 ・千葉県指定伝統的工芸品展を1月21日(土)～22日(日)の2日間、カメイドクロック1階カメクロコートにて開催 | 展示販売会を開催し、千葉の文化芸術を間近で見てもらい、広く周知する機会となった。 | 3,979 | 県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工器具の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施 | 5,764 | | 商工労働部 観光企画課 |
| 44 | 国産花きイノベーション推進事業(令和元年度～次世代国産花き確立推進事業) | 県産花植木を活用した生け花や日本庭園の展示、植木伝統樹芸実演会の開催などにより、生産技術の向上と県産花植木の魅力の発信を図る。 | 県産植木を活用した日本庭園ディスプレイ(R5.2.10～23 イオンモール成田) 生け花ディスプレイ(R5.1.10～16 そごう千葉店) | 県産の植木や花きを使い、伝統的な日本庭園や生け花を展示することで、日本の伝統文化に触れる機会を創出した。 | 2,703 | 実施無し | - | | 農林水産部 生産振興課 |
| 45 | ちばの食育活動促進事業 | 市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。 | ・食育の推進に向けた動画の作成や、リーフレット類の配布、地域における活動交換会の開催、食育ボランティアに対する研修会等を行った。 ・啓発リーフレットの配付:6種類 ・地域食育活動交換会の開催(オンライン・書面開催を含む):8地域 ・ちば食育ボランティア研修会(オンライン):1回 | 食育ボランティア等の活動の中には、郷土料理や地域の農林水産物について学ぶ機会となっているものもある。 | 4,555 | ・食育の推進に向けた動画の普及のほか、県内各地域における活動交換会の開催を支援し、食育ボランティアの活動を紹介する動画を作成する。 | 9,172 | 食育ボランティア活動発信普及動画を作成する。 | 農林水産部 安全農業推進課 |
| 46 | 水産物消費・食育対策事業 | おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。 | ①要望のあった県内の高等学校の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:11回) ②学校給食への県産水産物の提供に合わせて魚食普及パンフレットを配布した。 ③栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。 | ①アジを食材として用いて、千葉県の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②水産業や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深め「千産千消」を推進するための資料を配布し、県民に広く地魚の食べ方や選び方を伝えることにより魚食普及を行った。 ③栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。 | 672 | ①県内の小・中高等学校等の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣する。(派遣回数:10回) ②調理実習支援事業の食材などへの支援 ③魚食普及リーフレットを配布する。 | 902 | 調理実習支援事業の食材などへの支援 | 農林水産部 水産課 |
| 47 | 千葉県無形民俗文化財連絡協議会 | 国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。 | ・令和5年1月22日に旭市の東総文化会館で「房総の郷土芸能2022」を開催した。 ・指定無形民俗文化財の実施スケジュール等を掲載した会報を発行した。 ・記録映像作成は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施しなかった。 | ・新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、慎重に事業を実施した。 | 0 | ・無形民俗文化財の記録映像作成 ・「千葉県の無形民俗文化財」の発行 (「関東ブロック民俗芸能大会」を令和5年10月22日に、松戸市森のホール21において開催) | 378 | 「房総の郷土芸能」を休止し、「関東ブロック民俗芸能大会」を開催する。 | 教育庁 文化財課 |
| 48 | 出土文化財管理活用事業 | 発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。 | 出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(107件:小学校41件/中学校2件/特別支援学校5件/公民館等14件/博物館5件/学童等11件/イベント9件/研修等17件/貸出し3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。 | 前年度に比べ回復傾向にあるが、コロナ前の水準には至っていない。 | 1,918 | 出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併せて100回実施。 学習キット・配付済キットのメンテナンス、新規作成のための準備作業 | 1,986 | なし | 教育庁 文化財課 |

| ⑤伝統文化の保存・継承 | | | | | | | | | |
|-------------|----------------------|--|---|--|---------|---|-----------|------------------------------------|------------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 49 | 「ちばの花植木産地」パワーアップ事業 | 植木伝統樹芸士・銘木100選の選定や花植木の消費拡大・販売促進などを行う。 | 「植木銘木100選」として3本新たに認定した。 | 伝統的な植木造形技術・知識(接ぎ木や割りなど)に優れた方を植木伝統樹士に認定することで、技術・知識の保存・継承に資することができた。 | 180 | 「千葉県植木伝統樹芸士」の認定、「植木銘木100選」の認定。 | 3,108 | なし | 農林水産部 生産振興課 |
| 50 | 千葉県無形民俗文化財連絡協議会(再掲) | 国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。 | ・令和5年1月22日に旭市の東総文化会館で「房総の郷土芸能2022」を開催した。 ・指定無形民俗文化財の実施スケジュール等を掲載した会報を発行した。 ・記録映像作成は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施しなかった。 | ・新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、慎重に事業を実施した。 | 0 | ・無形民俗文化財の記録映像作成 ・「千葉県の無形民俗文化財」の発行 (「関東ブロック民俗芸能大会」を令和5年10月22日に、松戸市森のホール21において開催) | 378 | 「房総の郷土芸能」を休止し、「関東ブロック民俗芸能大会」を開催する。 | 教育庁 文化財課 |
| 51 | 伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業(再掲) | 小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。 | 4,039 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 4,040 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |

| ⑤伝統文化の保存・継承 | | | | | | | | | |
|-------------|------------------|--|--|--|---------|--|-----------|------------|----------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 52 | 伝統的工芸品産業振興事業(再掲) | 県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工匠の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工匠の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施 | ・千葉県伝統的工芸品を3品新規指定(「日本産榎囲基盤・将棋盤」、「指物家具」、「江戸組紐」) ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷し市町村や物産館等に配付) ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成 ・関東規模の伝統的工芸品展に、房州うちわが参加 ・千葉県指定伝統的工芸品展を1月21日(土)～22日(日)の2日間、カメイドクロック1階カメクロコートにて開催 | 展示販売会を開催し、千葉の文化芸術を間近で見てもらい、広く周知する機会となった。 | 3,979 | 県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工匠の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施 | 5,764 | | 商工労働部 観光企画課 |

| ⑥文化財・文化的景観等の保存と活用 | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------------|--|---|--|---------|--|-----------|------------|-------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 53 | 出土文化財管理活用事業(再掲) | 発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。 | 出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(107件:小学校41件/中学校2件/特別支援学校5件/公民館等14件/博物館5件/学童等11件/イベント9件/研修等17件/貸出し3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。 | 前年度に比べ回復傾向にあるが、コロナ前の水準には至っていない。 | 1,918 | 出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併せて100回実施。 学習キット:配付済キットのメンテナンス、新規作成のための準備作業 | 1,986 | なし | 教育庁 文化財課 |
| 54 | 文化財保護審議会 | 文化財指定のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査・保存管理に係る指導助言を行う。 | ・審議会を年4回開催し(うち1回はリモート)、文化財調査結果の報告、審議を行った。 ・教育委員会が県指定文化財の指定・登録について審議会に諮問し、指定・登録の答申を受けた。 ・有形文化財(絵画)「和氣清麿(石井林響筆)」、有形文化財(彫刻)「銅造誕生釈迦如来立像」、有形文化財(工芸品)「牡丹蓮華唐草模様七条袈裟横被付」、亀甲梅椿模様七条袈裟横被付」、有形文化財(考古資料)「御山遺跡SX-015石棺内出土品」の5件を新たに指定し、有形文化財(建造物)「香取神宮勅使門 附 棟札3枚」を追加指定・名称変更した。 ・有形文化財(考古資料)「南二重堀遺跡出土土製品(鳥形土製品)」、太田法師遺跡出土銅製品(六鈴釧)」、市原条里制遺跡出土鉄製品(鉄製穂摘具)」、記念物(動物、植物及び地質鉱物関係)「銚子の古銅輝石安山岩」を登録した。 | ・令和5年度から千葉県文化財登録制度を開始し、4件を登録することができた。 | 975 | 審議会の開催(4回) ・指定候補の文化財について調査し、結果を報告するとともに、その内容について審議する。 ・文化財の指定について審議会に諮問し、答申を受ける。 ・県指定文化財の保存状況調査の内容について審議する。 | 1,560 | | 教育庁 文化財課 |
| 55 | 指定候補文化財等調査事業 | 千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。 | 指定候補文化財の調査として、「和氣清麿(石井林響筆)」ほか計6件を調査した。 ・「白子神社本殿」ほか計9件について、指定文化財の保存状況調査を実施した。 ・登録候補文化財の調査を課職員が4件実施した。 | ・指定候補文化財については予定していた9件のうち6件を、保存状況調査については予定していた10件のうち9件を実施することができた。 | 975 | ・千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。 ・保存と活用に資する目的で、登録候補となる文化財調査を行う。 | 1,560 | | 教育庁 文化財課 |
| 56 | 文化財保存整備助成事業 | 国及び県指定文化財の所有者が行う保存修理等に係る助成事業。 | ・所有者及び市町村が実施する国及び県指定文化財の保存修理等事業について、補助を行った。 ・国指定文化財については、重要文化財「法華経寺祖師堂」ほか計9件について補助した。 ・県指定文化財については、指定有形文化財「三菱銀行佐原支店旧本館」ほか計9件について補助した。 | ・国指定文化財については、補助事業者の都合により、当初予定したよりも1件の事業が少なくなった。 ・県指定文化財については当初予定した件数よりも2件多く実施した。 | 51,550 | 引き続き文化財保存整備助成事業を実施予定。 ①国指定文化財への助成(11件) ②県指定文化財への助成(7件) | 55,000 | | 教育庁 文化財課 |
| 57 | 文化財管理助成事業 | 国指定文化財の防災設備点検等の所有者が行う維持管理事業に係る助成事業。 | ・所有者が行う国指定文化財の防災設備点検等の維持管理事業について、補助を実施した。 ・重要文化財「西願寺阿弥陀堂附厨子」ほか計16件を対象とした。 ・山武市が実施する国天然記念物「成東東金食虫植物群落」の管理事業について補助を行った。 | 計画通り実施した。 | 1,479 | 引き続き助成を行う予定。 ・件数:国指定文化財16件、国有文化財1件 | 1,423 | | 教育庁 文化財課 |
| 58 | 史跡等購入助成事業 | 史跡を保存活用するために市町村が行う公有化の助成事業。 | ・史跡を保存活用するために市町村が行う公有化事業について補助を行った。 ・香取市の史跡「下総佐倉油田牧跡」ほか計2件を対象として実施した。 | 補助事業者の公有化事業の進捗に即して補助した。 | 3,698 | 引き続き助成を行う予定。 ・件数:国指定文化財2件 | 3,800 | | 教育庁 文化財課 |
| 59 | 重要遺跡確認調査 | 県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施する。 | 県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施した。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施した。 ・いすみ市新田野貝塚の確認調査 ・県内重要出土遺物の保存処理 ・県内重要遺跡詳細分布調査(古墳) | ・新田野貝塚の確認調査を実施し、貝層分布範囲や遺構の遺存状況を確認した。 ・古墳の詳細分布調査について、外部有識者で構成される委員会において、重要遺跡の候補リストの検討等を行った。また、現地踏査を実施し、遺跡の保存状況の確認を行った。 ・千葉市椎名崎古墳群等から出土した大刀などの金属製品(5点)の保存処理を行った。 | 2,004 | 県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施する。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施する。 | 2,000 | | 教育庁 文化財課 |
| 60 | 埋蔵文化財緊急調査助成 | 土地区画整理事業・土地改良事業・個人住宅建設等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。 | 各種開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、23市町に対して調査費用の一部を助成した。 | 市原市ほか22市町に対して、発掘費用総額の10%～12.5%を助成した。 | 9,861 | 土地区画整理事業・土地改良事業・個人住宅建設等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。 | 11,189 | | 教育庁 文化財課 |
| 61 | 不特定遺跡発掘調査助成 | 当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難な場合、事業者の負担軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。 | 当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難と判断されたものについて、事業者の負担軽減を図るため、7市(9件)に対して調査費用の一部を助成した。 | 松戸市小金城跡(第25地点)ほか8件について、発掘調査及び整理作業・報告書の刊行にかかる費用の一部を助成した。 | 4,479 | 当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難な場合、事業者の負担軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。 | 5,011 | | 教育庁 文化財課 |
| 62 | ふさの国文化財ナビゲーションシステム | 国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。 | 埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。 | 指定文化財の追加16件、埋蔵文化財包蔵地の新発見18件、範囲変更76件、軽微な変更255件のデータ更新を行い、公開した。 | 607 | 国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。 | 687 | | 教育庁 文化財課 |

| ⑥文化財・文化的景観等の保存と活用 | | | | | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|---|---|--|--|---|-------------------------|---|--------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | 担当部署名 | |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) 前年度からの変更点等 | | |
| 63 | <新規事業>国際境界模式地(GSSP)関係遺産保存活用等支援事業 | 市原市田淵に所在する養老川河岸の地層は、令和元年に国際地質学連合から「国際境界模式地(GSSP)」に認定され、この地層に代表される時代は「チバニアン」と命名された。また、この地層を含む周辺地域は、「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」として国指定天然記念物に指定されている。国際的な学会による承認を受けた世界水準の価値を有するこの文化財について、市原市が行う整備事業のうち、自然科学教育への効果が特に期待できる部分を対象として、国庫補助事業への上乗せ補助を行う。 | | | | 市原市が令和5年度に計画している国庫補助事業に対し、上乗せ補助を行う。 | 30,000 | | 教育庁教育振興部文化財課 |
| 64 | 県立美術館・博物館事業(再掲) | 5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県のある自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数: 641,652人 | 千葉県のある自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。 | 1,025,381 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県のある自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。 | 1,318,575 | | 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 |
| 65 | 景観セミナー | 良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及を図るため、県民等を対象として、県内各地で景観セミナーや研修会等を開催する。 | 回数: 3回(市町民の代表である議員も参加した、県職員を派遣した出前講座や景観アドバイザーによる講演会を実施) 出前講座～芝山町出前講座～ (1)日 時: 令和4年11月2日(水)10時00分～11時15分 (2)場 所: 芝山町役場南庁舎1階研修室 (3)参加者: 町職員27名 町議員6名(参加費無料) (4)内 容: 景観施策の勉強会 出前講座～白井市出前講座～ (1)日 時: 令和5年1月13日(金)13時15分～14時15分 (2)場 所: 白井市役所本庁舎2階 災害対策室1・2・3 (3)参加者: 市職員35名、市議員16名 (4)内 容: 景観についての基礎的事項を学ぶための研修 景観アドバイザーによる講演 (1)日 時: 令和5年1月13日(金)14時15分～16時00分 (2)場 所: 白井市役所本庁舎2階 災害対策室1・2・3 (3)参加者: 市職員35名、市議員16名 (4)講 師: 千葉大学名誉教授 北原 理雄 (5)講演内容: ～景観からのまちづくり 人・暮らし・景観～ まちづくりにおける景観施策の意義や重要性、市街地景観と自然景観の共存、郊外型住宅都市における景観形成の手法、参考となる先進事例等の紹介 | | 景観アドバイザーによる講演 (1)日 時: 令和5年1月13日(金)14時15分～16時00分 (2)場 所: 白井市役所本庁舎2階 災害対策室1・2・3 (3)参加者: 市職員35名、市議員16名 (4)講 師: 千葉大学名誉教授 北原 理雄 (5)講演内容: ～景観からのまちづくり 人・暮らし・景観～ まちづくりにおける景観施策の意義や重要性、市街地景観と自然景観の共存、郊外型住宅都市における景観形成の手法、参考となる先進事例等の紹介 | 景観セミナー等 3回 開催地・詳細未定 | 1,281 | セミナーを始めてから10年以上経過していることなどから、事業の見直しを検討しているため、「景観セミナー」から「景観セミナー等」とする。 | 県土整備部公園緑地課 |
| 66 | 千葉県建築文化賞 | 安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。 | 1. 作品募集 募集部門: 一般建築物の部、住宅の部、募集期間: 7月1日～9月30日 作品応募数: 50作品 2. 審査結果 最優秀賞2点、優秀賞3点、入賞4点、計9点を表彰した。 | 県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。 | 1,141 | 賞を年1回実施(募集期間: 7月1日～9月30日(予定)、表彰式: 3月下旬) | 1,461 | 令和5年度で千葉県建築文化賞は第30回を迎えるため、第30回記念講演会を実施する予定。 | 県土整備部建築指導課 |

施策の柱3 新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり ～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

| ⑦様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築 | | | | | | | | | |
|--------------------------|---------------------|---|---|--|---------|--|-------------------------|--|--------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | 担当部署名 | |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) 前年度からの変更点等 | | |
| 67 | 千葉・県民芸術祭(再掲) | 県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。 | ①千葉・県民芸術祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数: 全29件、期間: 6月25日～11月24日、場所: 県立美術館・文化会館など(全県)、関係者: 文化芸術団体(全28団体)、来場者(合計): 一般県民等(56,120名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。日程: 7月23日(土)、24日(日)、9月25日(日)、場所: 千葉県文化会館、関係者: ((公財)千葉県文化振興財団・県域で活動する文化芸術団体等(25団体)、来場者: 一般県民等(3,584名・入場無料) | 県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供と通し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。 | 7,138 | ①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 事業数: 28件、期間: 6月～1月、会場: 県立美術館など全県で実施 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 日程: 10月1日(日)、会場: 青葉の森公園芸術文化ホール、出演者: 一般公募により選定した出演者等 また、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたミニライブ等を開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、YoutubeやSNS等で配信する。 | 7,220 | 行事名称を「千葉・県民芸術祭」から「千葉・県民文化祭」に変更する。 | 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 |
| 68 | 障害者芸術文化活動普及支援事業(再掲) | 障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。 | 【支援センター】 ・事業期間: 4月1日～3月31日 ・実施事業: 県民相談(41件)、障害当事者や支援者向けの人材育成研修(参加者数: 89人、配信動画再生数: 650回) ・展示会等: 1月14日～3月26日(展示作品数: 41点) | 障害のある人々の作品発表の機会の確保や県全域でのワークショップの実施により、文化振興に寄与した。一方で、さらなる情報周知の必要性や作品募集形態による機会の減少など、来年度に向けての課題も指摘された。 | 7,020 | 【支援センター】 ・事業期間: 4月1日～3月31日 ・実施予定事業: 県民相談、障害当事者や支援者向けの人材育成、県立美術館での展示会の実施 | 7,553 | 展示会の充実・規模拡大(初めて表現活動に取り組む方だけでなく、日頃から作品を制作されている方からも広く募集して実 | 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 |
| 69 | ネットワークの構築 | 文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。 | 【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数: 2回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等) | 県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただいた。 | 294 | 【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただく。 ・開催回数: 2～4回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等) | 539 | | 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 |
| 70 | 千葉県芸術文化団体協議会 | 昭和45年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体。 | 【芸術文化フォーラム】日程: 2月11日、場所: 千葉県文化会館で開催 【文化芸術功労表彰】加盟団体からの推薦により4名を表彰 【芸文教ちば】2回発行(9月、3月) | ・芸術文化フォーラム: 県内文化団体の発表・相互理解の場となった。 ・文化芸術功労表彰: 芸術文化フォーラム内で功労者表彰が行われ、文化の振興に寄与した。 | - | ・芸術フォーラムの開催 ・文化芸術功労表彰 ・芸文教ちばを発行 | - | | 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 |

⑦様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|---------------------|--|--|--|---------|--|-----------|------------------------------------|--------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 71 | 子どもの読書活動の推進 | 「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。 | ○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 概要:家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。また、令和5年度の小学生向けリーフレットの改訂に向け、掲載する絵本の選書等を行った。 配付時期:令和4年7月 配付対象:乳幼児の保護者及び小学校1年生の保護者 配付部数:(乳幼児向け)48,130部(小学生向け)47,870部 計96,000部 ○令和4年度「千葉県子ども読書の集い」 概要:子どもの読書活動の意義や重要性について理解を深め、学校や家庭、地域における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動に係る講演や実践発表を行った。 日程:令和4年5月14日(土) 場所:千葉県文化会館小ホール 主催:千葉県教育委員会 来場者:一般県民等(97名・入場無料) ○学校図書館・公立図書館連携研修会 概要:学校図書館の活性化や子どもの読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携に在り方について考える研修会を実施した。 日程:令和4年8月1日(月) 場所:千葉県立茂原樟陽高等学校 対象者:学校図書館関係者、公立図書館関係者、行政職員等(対面開催:128名、動画視聴回数:664回) | ○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付計画どおり配付した。今後は、より有効活用されるよう配付方法等を工夫したい。 ○令和4年度「千葉県子ども読書の集い」 昨年度よりも来場者数が増え、より多くの県民に子どもの読書活動の意義や重要性について啓発することができた。 ○学校図書館・公立図書館連携研修会 重点地域を対面開催としたことでより地域の実情に応じた研修会を実施することができた。また、その他の地域の対象者に向けて、内容の一部を動画配信したことで、県内の多くの学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。 | 673 | 「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。 | 844 | | 教育庁 生涯学習課 |
| 72 | 千葉県無形民俗文化財連絡協議会(再掲) | 国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。 | ・令和5年1月22日に旭市の東総文化会館で「房総の郷土芸能2022」を開催した。 ・指定無形民俗文化財の実施スケジュール等を掲載した会報を発行した。 ・記録映像作成は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施しなかった。 | ・新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、慎重に事業を実施した。 | 0 | ・無形民俗文化財の記録映像作成 ・「千葉県の無形民俗文化財」の発行 (「関東ブロック民俗芸能大会」を令和5年10月22日に、松戸市森のホール21において開催) | 378 | 「房総の郷土芸能」を休止し、「関東ブロック民俗芸能大会」を開催する。 | 教育庁 文化財課 |

⑧観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
|-----|-------------------------|---|---|--|---------|--|-----------|--|------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 73 | 千葉県フィルムコミッション運営事業 | 映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等 | ・映像制作関係者への撮影支援やロケ地情報等の広報活動業務を千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、100件近い撮影が県内で行われた。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。) ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。 | 100件近い撮影が県内で行われ、旧井上家住宅等の文化財においても撮影が行われた。 | 未定 | 映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 | 30,560 | 映画、テレビ番組の誘致のための補助金が終了したことに伴い、それに係る業務を削除。 | 商工労働部 観光誘致促進課 |
| 74 | 観光イベントブック「ちばnote」作成事業 | 本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。 | 【「ちばnote」の発行】 ・回数:6回 ・内容:県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等 | 歴史や文化を学べる博物館等を紹介した。 | 9,940 | 【「ちばnote」の発行予定】 ・回数:6回 ・内容:県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象:県内の在住・在勤者等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、県立博物館・美術館等 | 9,940 | 特になし | 商工労働部 観光誘致促進課 |
| 75 | デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ | 本県の姉妹都市であるデュッセルドルフ市の日本奨学生財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通して、「ちば文化」を経験してもらう。 | 新型コロナウイルスの影響により、奨学生の派遣が見送りとされたため、未実施となった。 | - | 0 | 本県の姉妹都市であるデュッセルドルフ市の日本奨学生財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。 | 130 | 太巻き祭り寿司体験料の増額に伴う予算増 | 総合企画部 国際課 |
| 76 | 「グリーン・ブルーツーリズムinちば」推進事業 | 農林水産業に対する都市住民の理解促進や都市と農山漁村の交流を促進し、県及び地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。農林水産物直売所及び農林漁業体験施設等のPRや関係者向け研修会を開催しグリーン・ブルーツーリズムを促進する。 | ①「ちばまるしえキャンペーン」の開催 令和4年11月5日～令和5年2月26日の期間、県内農林水産物直売所や収穫体験施設等の114施設が参加した。プレゼント企画の応募総数は650通、有効応募数は544通であった。(応募条件を例年の2施設から3施設の利用に変更したことにより応募数は減少したが、応募レシートの合計購入額は例年並みとなった。) ②農泊報告会の開催及びインバウンド向けパンフレットの作成 都市住民と農山漁村の交流活動を一層推進することを目的に、農泊関係者へのアンケート調査を基に宿泊を伴うモデルプランを作成し、令和5年3月17日に報告会を開催した。会場及びオンライン参加を含め、農泊関係者や自治体職員計19名の出席があった。なお、渡航制限の緩和を受け、県内への集客を促すインバウンド向けパンフレットを1万部作成し、成田空港等に配布した。 | 農林水産業や農山漁村に対する都市住民の理解促進が図られた。 | 6,252 | ①ちばまるしえキャンペーンの開催 ・期間:10月～1月(予定) ・内容:施設のPRやプレゼントキャンペーン ②農泊関係者等を対象とした会議やPR資料の作成等を実情に合わせて実施。 | 8,037 | | 農林水産部 流通販売課 |
| 77 | 「千葉の海」丸ごと満喫事業 | 都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。 | 県内の水産物直売所等を紹介する「新鮮!ちばのさかな!水産物直売所マップ」の作成・配付 ・作成部数:100,000部(NEXCO版45,000部、JR版55,000部) ・配布先:JR主要駅、高速道路SA・PA、水産物直売所、道の駅等 | 観光客の来訪を促進し、県産水産物の消費拡大や漁村の活性化を図るため、直売所マップ10万部を配布した。 | 4,211 | | | R5発行一時休止 | 農林水産部 水産課 |

⑧観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
|-----|---------------------------------|---|---|--|-----------|--|-----------|--|----------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 78 | 文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業【再掲】 | 東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。 | ①平成30年度に111件選定した「ちば文化資産」について、千葉県誕生150周年を記念し、合計150件となるよう追加選定を実施した。 ・「ちば文化資産」追加候補の決定 ア 候補の募集期間:令和4年7月1日～9月5日 イ 応募総数:373件 ⇒選考委員会の意見等を踏まえ、87件を追加候補として決定。 ・県民投票 ア 投票受付期間:令和4年11月17日～令和5年1月22日 イ 投票総数:3,903票 ⇒投票結果及び選考委員会の意見等を踏まえ、39件を追加選定。 ②千葉県誕生150周年を記念し、記念切手のデザインを公募し投票等により決定する「ちば文化資産」切手デザインコンテストを実施した。また、受賞作品をもとに切手デザインを作成するとともに、作品は県立美術館等で展示した。 ・作品募集・受賞作品の選定 ア 作品募集:令和4年7月1日～9月5日(絵画、写真作品を募集) イ 応募数:1,107件(重複や同一作者による複数応募等含む) ウ 審査により、受賞作品20点を決定 ・投票の実施(受賞作品20点の中から、デザインに採用する作品10点を決定) ア 投票期間:令和4年11月17日～12月23日(金) イ 1,778件 ③観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。 ・実施期間:令和4年7月1日～9月5日 ・応募数:1,305件 ④1年を通してSNSやHPにより周知を図った。 | 追加選定のほか「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用などにより、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。 | 9,470 | ①合計150件に追加選定した「ちば文化資産」の啓発物(パンフレット、動画)を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等を通じて活用することで周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS・WEB広告を実施する。 | 11,000 | 前年度追加選定した「ちば文化資産」について、本格的にPRを行うための取組である点 | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 79 | ちばアクアラインマラソン開催事業(再掲) | スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。 | 令和4年11月6日(日)に「ちばアクアラインマラソン2022」を開催し、約1万5000人のランナーが参加した。4年ぶりとなる今大会では、東京オリンピック・パラリンピックで実感されたスポーツの持つ力と価値を未来に引き継ぐとともに、新たに初心者枠の設定や、親子ラン、生活用車いすランといったイベントなどを実施した。 | ランナーの給食品として、千葉県各地の名産品を関係課と連携し用意を行い、食の分野で地域活性化を図った。 | 154,913 | 「ちばアクアラインマラソン2024」の開催に向けて、「基本計画」、「大会要項」及び「募集要項」を決定し、大会開催への準備を整える。 | 49,000 | | 環境生活部 スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課 |
| 80 | 日本遺産魅力発信推進事業 | 日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。 | ・アフターコロナに向けた観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組み ・駅などへのポスター掲示、HP,Facebook等での情報発信 ・関係団体との連携事業 | アフターコロナに向けた観光誘客事業が進んできている。 | 100 | ・アフターコロナに向けた観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組み ・駅などへのポスター掲示、HP,Facebook等での情報発信 ・関係団体との連携事業 | 100 | なし | 教育庁 文化財課 |
| 81 | ネットワークの構築(再掲) | 文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。 | 【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数:2回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等) | 県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただいた。 | 294 | 【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただく。 ・開催回数:2～4回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等) | 539 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 82 | ちば文化交流ボックス(再掲) | 県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。 | 「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:732,312人 | 県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。 | - | 文化イベントや文化資源などに関する情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧数増加を目指す。 | - | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 83 | 県立文化会館自主事業管理運営事業(再掲) | 県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。 | ・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):532,419名 ・利用事業数(4館合計):4,104件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。 | 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。 | 652,282 | ・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施 | 556,700 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 84 | 県立美術館・博物館事業(再掲) | 5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:641,652人 | 千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。 | 1,025,381 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。 | 1,318,575 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 85 | 千葉県フィルムコミッション運営事業(再掲) | 映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等 | ・映像制作関係者への撮影支援やロケ地情報等の広報活動業務を千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、100件近い撮影が県内で行われた。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。) ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。 | 100件近い撮影が県内で行われ、旧井上家住宅等の文化財においても撮影が行われた。 | 未定 | 映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 | 30,560 | 映画、テレビ番組の誘致のための補助金が終了したことに伴い、それに係る業務を削除。 | 商工労働部 観光誘致促進課 |

⑨文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の多面的な活用

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
|-----|----------|---|------------------------------------|--|---------|---------------------------------|-----------|------------|--------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 86 | 県立学校開放講座 | 県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するとともに開かれた学校づくりを促進する。 | ・開講数:11校12講座 ・内容:書道、科学実験、野菜の栽培等 | 昨年に比べて実施校数・講座数の増加がみられたものの、人と人との接触を伴うような講座は見送られた。 | 236 | ・開講数:15校16講座 ・内容:書道、飼育、農業体験等 | 366 | | 教育庁 生涯学習課 |

施策の柱4 次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり ～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

⑩豊かな感性を育む文化芸術、郷土の歴史・伝統に出会う機会の充実

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
|-----|------------------------|--|--|--|-----------|---|-----------|-------------------|------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 87 | 水産物消費・食育対策事業(再掲) | おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。 | ①要望のあった県内の高等学校の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:11回) ②学校給食への県産水産物の提供に合わせて魚食普及パンフレットを配布した。 ③栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。 | ①アジを食材として用いて、千葉県産の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②水産業や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深め「千産千消」を推進するための資料を配布し、県民に広く地魚の食べ方や選び方を伝えることにより魚食普及を行った。 ③栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。 | 672 | ①県内の小中高等学校等の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣する。(派遣回数:10回) ②調理実習支援事業の食材などへの支援 ③魚食普及リーフレットを配布する。 | 902 | 調理実習支援事業の食材などへの支援 | 農林水産部 水産課 |
| 88 | 子どもの読書活動の推進(再掲) | 「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。 | ○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 概要:家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。また、令和5年度の小学生向けリーフレットの改訂に向け、掲載する絵本の選書等を行った。 配付時期:令和4年7月 配付対象:乳幼児の保護者及び小学校1年生の保護者 配付部数:(乳幼児向け)48,130部(小学生向け)47,870部 計96,000部 ○令和4年度「千葉県子ども読書の集い」 概要:子どもの読書活動の意義や重要性について理解を深め、学校や家庭、地域における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動に係る講演や実践発表を行った。 日程:令和4年5月14日(土) 場所:千葉県文化会館小ホール 主催:千葉県教育委員会 来場者:一般県民等(97名・入場無料) ○学校図書館・公立図書館連携研修会 概要:学校図書館の活性化や子どもの読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携に在り方について考える研修会を実施した。 日程:令和4年8月1日(月) 場所:千葉県立茂原樟陽高等学校 対象者:学校図書館関係者、公立図書館関係者、行政職員等(対面開催:128名、動画視聴回数:664回) | ○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付計画どおり配付した。今後は、より有効活用されるよう配付方法等を工夫したい。 ○令和4年度「千葉県子ども読書の集い」 昨年度よりも来場者数が増え、より多くの県民に子どもの読書活動の意義や重要性について啓発することができた。 ○学校図書館・公立図書館連携研修会 重点地域を対面開催としたことでより地域の実情に応じた研修会を実施することができた。また、その他の地域の対象者に向けて、内容の一部を動画配信したことで、県内の多くの学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。 | 673 | | 844 | | 教育庁 生涯学習課 |
| 89 | ふさの国文化財ナビゲーションシステム(再掲) | 国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。 | ・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。 | 指定文化財の追加16件、埋蔵文化財包蔵地の新発見18件、範囲変更76件、軽微な変更255件のデータ更新を行い、公開した。 | 607 | 国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。 | 687 | | 教育庁 文化財課 |
| 90 | 県警音楽隊派遣(再掲) | 要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。 | 新型コロナウイルスも4月以降落ち着き、派遣日数109日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計226回の演奏を行った。 | 新型コロナウイルスも4月以降落ち着き、イベント開催による派遣要請も徐々に増加したことで、警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。 | | 派遣予定日数:77日 派遣予定回数:78回 0(令和5年1月～令和5年12月) | 0 | | 警察本部 |
| 91 | 学校音楽鑑賞教室(再掲) | 次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。 | ・時期:通年 ・公演数:45公演 ・巡回先:県立高等学校2校、県内公立小・中学校43校 | 次代の文化を担う児童・生徒に質の高い演奏に触れる機会を提供した。 | 15,456 | | 13,660 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 92 | 伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業(再掲) | 小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。 | 4,039 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 4,040 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 93 | 県立美術館・博物館事業(再掲) | 5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:641,652人 | 千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。 | 1,025,381 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。 | 1,318,575 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 94 | 県有文化財管理活用事業 | 郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。 | 令和4年10月29日、30日に一般公開を実施した。 | 4年ぶりの一般公開となり、多くの来場者が訪れた。 | 1,498 | 令和5年10月以降の一般公開日の設定を予定している。 | 1,500 | | 教育庁文化財課 |
| 95 | 水道週間ポスター・標語コンクール | 千葉県企業局では、県民の皆様の水道へのご理解をより深めていただくために、「水の大切さ」や「くらしを支える水道水」などを呼びかける「ポスター」及び「標語」作品を募集・審査・表彰し、作品集にまとめている。 | ・作品募集(テーマ:「水の大切さ」「くらしを支える水道水」) 応募総数:ポスターの部469点、標語の部1,124点 上記より部門ごとに最優秀・優秀賞各5点、佳作50点を選出 ・作品展示 会場:県庁本庁舎連絡通路・そごう千葉店・県立美術館 期間:各会場1週間程度 来場者数:各会場受付をしていないため、不明 | 学校や公民館等に作品募集のお知らせを送付し、ポスターや標語の制作・鑑賞を通じて、文化芸術に親しむ機会を提供した。 | 961 | ・作品募集 対象:県内に在住、県内学校に通学している方 テーマ:「水の大切さ」「くらしを支える水道水」 ・作品展示等(県内施設) | 1,435 | | 企業局管理部業務振興課 |

| ⑪若者の文化芸術活動の支援 | | | | | | | | | |
|---------------|-----------------------------|--|---|---|---------|---|-----------|---|------------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 96 | 若者の文化芸術活動育成支援事業(再掲) | 若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。 | 「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】10団体10事業/【交付数】6団体6事業 | 6団体6事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。 | 1,200 | 「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月29日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:6団体6事業 | 1,200 | なし | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 97 | 高等学校文化連盟補助 | 国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。 | 以下の事業が補助金の対象である。 ①千葉県高等学校総合文化祭開催事業(参加25,366人) 演劇、合唱、吹奏楽、放送、写真、美術・工芸、将棋等 ②全国高等学校総合文化祭派遣事業(255人) ③全国大会・関東大会派遣事業(211人) ④講習会・研修会開催事業(313人) ⑤専門部会・理事会開催事業(500人) | 千葉県高等学校総合文化祭の開催及び全国高等学校総合文化祭への派遣等の補助を実施し、生徒が文化芸術に触れる機会を創出した。 | 4,500 | 千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する等、高校生の文化活動の支援を行う。 | 4,800 | マーチングバンド・バトントワリング部門、新聞部門の開設費用のため補助金を増加した。 | 教育庁 学習指導課 |
| 98 | 千葉県少年少女オーケストラ育成事業 | (公財)千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。 | ・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・前年度実施した公演の動画配信を実施した。 ・7月にアキラさんの大発見コンサートを千葉県文化会館及び南総文化ホールで開催し、南総文化ホールでの公演の様子を東総文化会館でライブビューイングで実施した。また、当日会場に来られない人も演奏の様子を見られるようテレビ収録を行い8月に放映した。3月に第27回定期演奏会と公開リハーサルを千葉県文化会館で開催した。 | 次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。 | 36,734 | ・指導者を招聘し、定期的に練習を実施。 ・6月に千葉県誕生150周年記念行事のオープニングイベント(森のホール21)での招待演奏。3月に定期演奏会(東京芸術劇場)を開催予定。また、県内の市民会館等で公開リハーサルを実施予定。 | 40,934 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 99 | <新規事業>アーティスト・フォロアアップ(モデル)事業 | 既存の枠にとらわれない、多様で優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストなど、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、そのキャリア形成を支援する。 | | | | ・対象者:千葉県に在住、在学、又は千葉県を活動拠点とする39歳未満のアーティスト ・事業内容 ①アーティストのキャリア形成に係る活動等の支援(伴走型) ・1人あたり50万円 ・活動場所、機材や作品の保管場所等の紹介 ・作品制作及びキャリア形成に関する助言 ②新たな創造に繋がる芸術活動の支援(テーマ設定型) ・1人あたり50万円 | 12,000 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |

| ⑫伝統文化を担う子ども・若者の育成 | | | | | | | | | |
|-------------------|-----------------------|--|---|--|---------|---|-----------|------------|------------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 100 | 伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業(再掲) | 小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。 | 4,040 | ・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) | 4,040 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 101 | 千葉県少年少女オーケストラ育成事業(再掲) | (公財)千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。 | ・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・前年度実施した公演の動画配信を実施した。 ・7月にアキラさんの大発見コンサートを千葉県文化会館及び南総文化ホールで開催し、南総文化ホールでの公演の様子を東総文化会館でライブビューイングで実施した。また、当日会場に来られない人も演奏の様子を見られるようテレビ収録を行い8月に放映した。3月に第27回定期演奏会と公開リハーサルを千葉県文化会館で開催した。 | 次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。 | 36,734 | ・指導者を招聘し、定期的に練習を実施。 ・6月に千葉県誕生150周年記念行事のオープニングイベント(森のホール21)での招待演奏。3月に定期演奏会(東京芸術劇場)を開催予定。また、県内の市民会館等で公開リハーサルを実施予定。 | 40,934 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |

施策の柱5 ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
|-----|---------------------------|---|---|--|---------|--|-----------|--|------------------------|
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 102 | 千葉の海をPRする統一デザインの作成事業 | 千葉の海について、統一感のある魅力発信を行うため選定したブランドデザイン等を活用し周知を行う。 | ・千葉の海をPRするブランドデザインの作成 ・千葉の海をイメージしたシンボルカラーの選定 | 千葉の海が多様な魅力を表現し、「ちば文化」のブランド化及び県民の誇りの醸成に寄与するデザインを作成した。 | 3,491 | ・「千葉の海ブランドデザイン」を活用したノベルティグッズの制作及び配布 | 5,000 | 前年度に作成したブランドデザインを活用し、周知を図る | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 103 | 千葉の海と水辺の魅力発信事業 | 在京メディア等を活用したPRを展開するとともに首都圏をターゲットとした誌面広告などにより、海や水辺の魅力について、発信をしていく。 | ・東京メトロで配布するフリーマガジンで、海辺の地域の魅力を紹介する記事広告を掲載するとともに、誌面でとり上げたモノやコトを体験するモニターツアーを開催 誌面掲載：3回(7月20日発行号、9月20日発行号、11月20日発行号) モニターツアー：2回(11/26、12/3)銚子市・旭市 ・メディアリレーション事業において、本県の露出機会を増加させるため、在京メディア等に向けてプレスリリース等で情報発信 プレスリリース等：12本 テレビ露出：27件(令和5年2月末時点) | 在京メディア等を活用したPR及び誌面広告などにより、県内各地域の認知度やブランド力の向上を図ることができた | 39,999 | ・東京メトロで配布するフリーマガジン等への記事の掲載及び誌面と連動したイベントの開催 ・メディアリレーション事業による情報発信 | 50,000 | | 総合企画部 地域づくり課 |
| 104 | GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業 | スマートフォン等を使って「千葉ならではの魅力」に触れられる観光スポットや特集テーマを巡り、一定以上のポイントを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たるデジタルポイントラリーを実施する。 | 【ポイントラリー実施概要】 ・実施期間：令和4年11月1日～令和5年2月28日 ・主な対象：県民及び県外からの観光客 ・広報物：キャンペーンポスター、チラシ、のぼり、三角POP ・配布先：鉄道駅、道の駅、スポットとなっている観光施設 ・参加者数：6763人 ・抽選応募者数：A賞 849人、B賞 1132人 鉄道賞 41人 | 文化芸術に触れる機会を創出することを意識して千葉県の魅力が伝わるような特集テーマを40本程度作成し、取り入れた。その中でも「千葉とクジラのかかわりを知る」といったような「千葉の海の魅力」を体験してもらえる特集テーマを10本程作成し、取り入れた。 | 32,000 | 令和4年度に引き続き、スマートフォン等を使って観光スポット等を巡り、一定以上のポイントを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たるデジタルポイントラリーを実施する。また地図を用いて利用者が視覚的に観光情報へアクセスでき、写真映えスポットやグルメ情報など有益な観光関連情報も併せて得られるような観光情報サイトを整備する。 | 50,000 | 地図を用いた観光情報サイトを整備する | 商工労働部 観光誘致促進課 |
| 105 | 新しい千葉の食文化創生事業 | 首都圏近郊にある豊かな自然(海と大地)をテーマに、県内各地域の特産品を取り入れた新しい千葉の食文化を目指した料理を消費者へ提供することで地産地消を推進し、農林水産業の振興を図る。 | (1)コンセプトの策定：県内の多彩な農林水産物を活用できるアヒージョに、隠し味として千葉県にゆかりの深い調味料である「醤油」を加え、「黒アヒージョ」として提案していく (2)Instagramを活用した料理コンテストの開催：県内飲食店を対象に、醤油を隠し味に使った「黒アヒージョ」料理を募集。40作品の応募があり、応募料理の中からグランプリ1作品、準グランプリ2作品を決定 (3)Instagramを活用した記事コンテンツの発信：房総の自然を感じるシーン(キャンプ場等)での「黒アヒージョ」の楽しみ方に関する投稿5回、「黒アヒージョ」のレシピに関する投稿5回を実施 (4)テレビ番組と連携したプロモーション：NHK首都圏ネットワーク等で取り上げられた視聴(推計)：146万世帯(NHK首都圏ネットワーク) (5)アニメ「ヤマノススメNext Summit」とのコラボ企画：「黒アヒージョ」提供店舗へのコラボポスターの配布、「黒アヒージョ」提供店舗で「黒アヒージョ」を召し上がった方に、コラボノベルティをプレゼントするキャンペーンやインフォーマーシャルを実施。 参加店舗数：23店舗、参加者数：約18,000名 インフォーマーシャル視聴(推計)：5.6万世帯 (6)ハッシュタグキャンペーンの実施：Instagram等のSNSで「黒アヒージョ」の情報発信にご協力いただいた方の中から抽選で、スキレットやスキレットカバー等をプレゼントするキャンペーンの実施し、756件の応募があった。 Instagramフォロワー数：9,412人(R5.3.17時点) Twitterフォロワー数：1,803人(R5.3.17時点) (7)WEB・SNS広告の企画運営：GDN表示回数：670,905回、YDA表示回数：10,393,754回 (8)特設WEBサイトの製作・運営・維持・管理：ユーザー数：10,600名、ページビュー数：25,100 | 黒アヒージョ全体のPRコンセプトは狙いとしたターゲット(若年女性層)に訴求され、認知に及んだ戦略となっており、そこにアニメとコラボしたPRを加えたことで、新たな層(男性層)への認知を広げ、実際に店に足を運ぶ流れを創出できた。 | 19,969 | ・料理コンテスト、フェアの実施、メディアと連携したPR ・「黒アヒージョキャラバン※」の実施 ※ キャンプ場やグランピング施設で黒アヒージョをPR ・県外イベントへの出展 | 30,000 | アウトドアシーンにおける「黒アヒージョ」を楽しむ機会の提供を行う | 農林水産部 流通販売課 |
| 106 | 「千葉の海」丸ごと満喫事業 | 都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。 | 県内の水産物直売所等を紹介する「新鮮！ちばのさかな！水産物直売所マップ」の作成・配付 ・作成部数：100,000部(NEXCO版45,000部、JR版55,000部) ・配布先：JR主要駅、高速道路SA・PA、水産物直売所、道の駅等 | 観光客の来訪を促進し、県産水産物の消費拡大や漁村の活性化を図るため、直売所マップ10万部を配布した。 | 4,211 | | | R5発行一時休止 | 農林水産部 水産局水産課 |
| 107 | 青少年水産教室漁業士派遣事業 | 青少年に本県水産業への理解と親しみを深めてもらうとともに、将来における漁業就業の一助とするため、小中学校又は高等学校等が開催する青少年水産教室の開催支援として、県内各地で漁業者のリーダーとして活躍している漁業士を講師として派遣する。 | 水産教室への漁業士派遣 延べ3名 | 新型コロナウイルスの影響等もあったものの、適切に派遣を行った。 | 15 | 水産教室への漁業士派遣 延べ15名 | 75 | | 農林水産部 水産局水産課 |
| 108 | 農山漁村振興交付金事業 | 農山漁村活性化法に基づき市町村が策定する定住・交流の促進、漁業者の所得向上や雇用の増大を図るための活性化計画の実現に向けて、漁業協同組合等が実施する地域活性化のための施設整備に対し支援する | 新勝浦市漁協が勝浦市鵜原地区に整備するダイビング施設的设计業務に対して支援した。 | 令和5年度の本体工事にに向けて適切な支援を行った。 | 548 | 新勝浦市漁協が、勝浦の海の魅力発信することで、都市との交流を促進し、活気やにぎわいの創出を目的とし、勝浦市鵜原地区に、ダイビング施設を整備することに対して支援する | 0 | 令和4年度2月補正7,730千円を明許繰越により令和5年度実施 本体工事の実施 | 農林水産部 水産局水産課 |
| 109 | 「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業(再掲) | 千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。 | 県内小中高等学校や保育・高齢者施設、県主催イベントなどにおいて、着ぐるみを用いて「ゆめみるチーバくんダンス」の普及活動を実施。 学校等訪問回数(イベント除く)：88回、期間：4月1日～3月31日、場所：主に県内 | チーバくんのダンスを通して、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を提供することができた。 | 20,771 | 千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。 | 22,100 | | 総合企画部 地域づくり課 |
| 110 | ちば文化交流ボックス(再掲) | 県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。 | 「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数：732,312人 | 県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。 | - | | | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 111 | 県立文化会館自主事業管理運営事業(再掲) | 県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。 | ・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：532,419名 ・利用事業数(4館合計)：4,104件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。 | 県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。 | 652,282 | ・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施 | 556,700 | | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |

| ⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成 | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|---|--|---|-----------|---|-----------|--|------------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | 担当部署名 |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | |
| 112 | 県民の日事業 | 県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。 | ①県民の日ちばワクワクフェスタ2022 幕張メッセ国際展示場ホール1にて6月12日に実施 参加者5,200人(その他アーカイブ配信を1,500人程度視聴) ②地域行事:11件 ③賛同行事:市町村や民間企業等を対象に、令和3年12月から令和4年6月まで募集し、パンフレット等を作成して広報を行った。 | ①数年ぶりにリアルで開催したものの、ステージプログラムは事前申込座席指定制としたことで、申し込んだものの落選した方の多くが来場できず、例年より来場者が少なくなる結果となったが、アーカイブ配信を併用したことで、地理的に直接来場が難しい方にも県民意識の醸成を図ることができた。 ②地域行事については、各地域がコロナウイルス対策を取った上で、従来に近い形で実施することができた。 | 62,357 | ①千葉県誕生150周年記念行事オープニングイベント 松戸市 森のホール21及び21世紀の森と広場にて6月11日に実施予定 参加者5,200人(その他アーカイブ配信を1,500人程度視聴) ②地域行事:11件 ※令和5年度は賛同行事は実施しないが、ちば150周年記念事業パートナーとして、千葉県誕生150周年記念事業へ協力するパートナーを募集 | 75,100 | 千葉県誕生150周年記念事業として位置づけ、例年よりも大規模に実施する。 | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 113 | 国民文化祭周知・派遣 | 毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務を行う。 | 沖縄県で開催。 「美ら島おきなわ文化祭2022、第37回国民文化祭、第22回全国障害者芸術・文化祭」(令和4年10月22日～11月27日) | — | — | 今年度は、石川県で開催。 「いしかわ百万石文化祭2023、第38回国民文化祭第23回全国障害者芸術・文化祭」(令和5年10月14日～11月26日) | — | — | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 114 | 県立美術館・博物館事業(再掲) | 5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:641,652人 | 千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、 「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。 | 1,025,381 | 各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。 | 1,318,575 | — | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 115 | ふさの国文化財ナビゲーションシステム(再掲) | 国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。 | ・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。 | 指定文化財の追加16件、埋蔵文化財包蔵地の新発見18件、範囲変更76件、軽微な変更255件のデータ更新を行い、公開した。 | 607 | 国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。 | 687 | — | 教育庁 文化財課 |
| 116 | 文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業【再掲】 | 東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。 | ①平成30年度に111件選定した「ちば文化資産」について、千葉県誕生150周年を記念し、合計150件となるよう追加選定を実施した。 ・「ちば文化資産」追加候補の決定 ア 候補の募集期間:令和4年7月1日～9月5日 イ 応募総数:373件 ⇒選考委員会の意見等を踏まえ、87件を追加候補として決定。 ・県民投票 ア 投票受付期間:令和4年11月17日～令和5年1月22日 イ 投票総数:3,903票 ⇒投票結果及び選考委員会の意見等を踏まえ、39件を追加選定。 ②千葉県誕生150周年を記念し、記念切手のデザインを公募し投票等により決定する「ちば文化資産」切手デザインコンテストを実施した。また、受賞作品をもとに切手デザインを作成するとともに、作品は県立美術館等で展示した。 ・作品募集・受賞作品の選定 ア 作品募集:令和4年7月1日～9月5日(絵画、写真作品を募集) イ 応募数:1,107件(重複や同一作者による複数応募等含む) ウ 審査により、受賞作品20点を決定 ・投票の実施(受賞作品20点の中から、デザインに採用する作品10点を決定) ア 投票期間:令和4年11月17日～12月23日(金) イ 1,778件 ③観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。 ・実施期間:令和4年7月1日～9月5日 ・応募数:1,305件 ④年間を通じてSNSやHPにより周知を図る。 | 追加選定のほか「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用などにより、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。 | 9,470 | ①合計150件に追加選定した「ちば文化資産」の啓発物(パンフレット、動画)を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等を通じて活用することで周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS・WEB広告を実施する。 | 11,000 | 前年度追加選定した「ちば文化資産」について、本格的にPRを行うための取組である点 | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 117 | <新規事業> 「千葉の海・大使」を活用した魅力発信事業 | 千葉の海の魅力をより効果的及び統一感をもって発信していくため、「千葉の海・大使」を任命し、イベント等への参加やイラストの寄稿等を実施する。 | — | — | — | ・千葉の海・大使の任命 ・就任式の実施(7月16日予定) | 5,000 | — | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 118 | <新規事業> 千葉県誕生150周年記念事業 | 令和5年6月に千葉県誕生150周年の節目を迎えることから、本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につながるため、市町村等に対する補助金等により、県全域で記念事業を展開する。 | — | — | — | 県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金を交付 ・補助割合:補助対象経費の1/2以内 ・補助上限額:1市町村当たり10,000千円(人口5万人未満の市町村は5,000千円) ※複数市町村で事業を実施する取組、県が示すコンセプト(テーマ)に沿って100年後の続いていく未来のことを考え、千葉の豊かな自然との関係や、「ちば文化資産」を活用する取組は、それぞれ補助金額を2倍、両方満たした場合は3倍 | 598,245 | — | 環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 |
| 119 | 日本遺産魅力発信推進事業(再掲) | 日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。 | ・アフターコロナに向けた観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組み ・駅などへのポスター掲示、HP、Facebook等での情報発信 ・関係団体との連携事業 | アフターコロナに向けた観光客誘致事業が進んできている。 | 100 | ・アフターコロナに向けた観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組み ・駅などへのポスター掲示、HP、Facebook等での情報発信 ・関係団体との連携事業 | 100 | なし | 教育庁 文化財課 |
| 120 | 出土文化財管理活用事業(再掲) | 発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。 | 出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(107件:小学校41件/中学校2件/特別支援学校5件/公民館等14件/博物館5件/学童等11件/イベント9件/研修等17件/貸出し3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。 | 前年度に比べ回復傾向にあるが、コロナ前の水準には至っていない。 | 1,918 | 出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併せて100回実施。 学習キット:配付済キットのメンテナンス、新規作成のための準備作業 | 1,986 | なし | 教育庁 文化財課 |

| ⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成 | | | | | | | | | |
|--------------------------------|-------------------|--|--|---|---------|---|-----------|---|----------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 121 | さわやかちば県民プラザ事業(再掲) | 音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。 | 県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて7事業を実施した。全ての事業はさわやかちば県民プラザ主催、さわやかちば県民プラザで実施し、入場料は無料。 ①音楽ワークショップ・概要:「柏の葉吹奏楽団」を結成し、吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。・回数:練習全15回実施、コンサート2回・期間:5月21日～1月15日・連携団体:千葉県吹奏楽連盟、柏の葉吹奏楽団・来場者:団員、鑑賞者(1913人) ②東葛飾文化祭・概要:東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。・期間:6月3日～6月12日・連携団体:柏市文化連盟、我孫子市文化連盟、鎌ヶ谷市芸術文化協会、流山市文化協会、野田市文化団体協議会、松戸市文化団体連盟・来場者:発表関係者、鑑賞者(7200人) ③ザ・ワールドオブラス:・概要:東関東地区(千葉県、茨城県、神奈川県、栃木県)の中学校、高校の吹奏楽部全23校がフロアマーチングの発表を実施した。・日程:5月7日・連携団体:東関東吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、東葛飾地区吹奏楽連盟・来場者:発表関係者(1400人) ④クリスマスコンサート・概要:県内小中高等学校吹奏楽部が日ごろの練習成果を発表した。・日程:12月17日・来場者:発表関係者(207人) ⑤高校生バンドフェスティバル・概要:県内の高校生バンド16組が演奏を披露するコンサートを実施した。・日程:12月24日、25日・連携団体:千葉県高等学校軽音楽連盟・来場者:発表関係者、鑑賞者(218人) ⑥書のパフォーマンス発表会・概要:県内の高校11校の書道部が書道の実演発表を実施した。日程:10月1日・来場者:発表関係者、鑑賞者(415人) ⑦さわやかアゴラコンサート ・概要:日曜のお昼に県民プラザ利用者等によるコンサートをアゴラで行った。・回数:5回・期間:6月26日～2月26日・来場者:発表関係者、鑑賞者(136人) | 参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの県民に触れる場となるよう広報も工夫した。 | 320 | 音楽ワークショップ、とうかつ地域文化祭、ザ・ワールドオブラス、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会などを実施する。 | 329 | クリスマスコンサート、さわやかアゴラコンサートは実施しない。東葛飾文化祭は実行委員会との共催事業となり、とうかつ地域文化祭と名称変更した。 | 教育庁生涯学習課 |

| ⑭最新のテクノロジーや国内外との交流を取り入れた新たな「ちば文化」の創造 | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|---|---|---------|--|-----------|--|--------------------|
| No. | 事業名 | 事業概要 | 令和4年度実施結果 | | | 令和5年度実施計画 | | | |
| | | | 実施結果 | 実施結果に対する評価 | 決算額(千円) | 実施計画 | 当初予算額(千円) | 前年度からの変更点等 | 担当部署名 |
| 122 | 文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業【再掲】 | 東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。 | ①平成30年度に111件選定した「ちば文化資産」について、千葉県誕生150周年を記念し、合計150件となるよう追加選定を実施した。 ・「ちば文化資産」追加候補の決定 ア 候補の募集期間:令和4年7月1日～9月5日 イ 応募総数:373件 ⇒選考委員会の意見等を踏まえ、87件を追加候補として決定。 ・県民投票 ア 投票受付期間:令和4年11月17日～令和5年1月22日 イ 投票総数:3,903票 ⇒投票結果及び選考委員会の意見等を踏まえ、39件を追加選定。 ②千葉県誕生150周年を記念し、記念切手のデザインを公募し投票等により決定する「ちば文化資産」切手デザインコンテストを実施した。また、受賞作品をもとに切手デザインを作成するとともに、作品は県立美術館等で展示した。 ・作品募集・受賞作品の選定 ア 作品募集:令和4年7月1日～9月5日(絵画、写真作品を募集) イ 応募数:1,107件(重複や同一作者による複数応募等含む) ウ 審査により、受賞作品20点を決定 ・投票の実施(受賞作品20点の中から、デザインに採用する作品10点を決定) ア 投票期間:令和4年11月17日～12月23日(金) イ 1,778件 ③観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。 ・実施期間:令和4年7月1日～9月5日 ・応募数:1,305件 ④1年を通してSNSやHPにより周知を図った。 | 追加選定のほか「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用などにより、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。 | 9,470 | ①合計150件に追加選定した「ちば文化資産」の啓発物(パンフレット、動画)を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等を通じて活用することで周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS・WEB広告を実施する。 | 11,000 | 前年度追加選定した「ちば文化資産」について、本格的にPRを行うための取組である点 | 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 |
| 123 | デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ(再掲) | 本県の姉妹都市であるデュッセルドルフ市の日本奨学生財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通して、「ちば文化」を経験してもらう。 | 新型コロナウイルスの影響により、奨学生の派遣が見送りとされたため、未実施となった。 | - | 0 | 本県の姉妹都市であるデュッセルドルフ市の日本奨学生財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。 | 130 | 太巻き祭り寿司体験料の増額に伴う予算増 | 総合企画部国際課 |